

中川村議会だより第 134 号（2023 年 9 月議会）アンケート結果

1 134 号の表紙について

- ◆ 2 回ごとに作者が変わっていくということに裏面の解説で初めて気づきました。美術館のようで面白い試みです。今回もタッチが変わってまた面白いです。中川村に絵が描ける方がたくさんいるということを知れたので、これからはいろいろな方の絵を拝見したいです。
- ◆ 天竜川兩岸の岩肌や紅葉などが美しく表現されていて素晴らしい。表紙全体が白の基調で表題が際立っているように見えました。
- ◆ 村内在住の色々な作家さんの絵を拝見することができてうれしく思います。村の文化祭に出展されていた半場や切り絵等もよいのでは？（南陽の小澤健二さん推薦したいです）
- ◆ 坂戸橋から天竜川を落ちて望んだことは無かったような気がします。今年の秋は雨が少なくて濃い緑・青を湛えて流れる穏やかな天竜を見られる日が多かったですね。
- ◆ これからも絵で表紙を飾ってほしいです。
- ◆ 前回の表紙はどちらかと言うと写実的な絵でしたが、今回は The 絵画チックな絵で、被写体はほぼ同じものですがそれぞれ全く雰囲気違って面白かったです。堂々としたタッチで描かれていてとても素敵な絵だと思います。
- ◆ 2 誌面ごとに色々な方の表紙イラスト掲載とても良い案だと思います。村内の景色や行事などの紹介にもつながると思います。村民もなかなか知らないような景色が表紙になると面白いですね。
- ◆ 目を引く表紙で、とても素敵だと思います。村民から表紙を募集するのも素敵なアイデアだと感じました。
- ◆ 村歌 2 番  緑濃き 村を流れる 清き天竜  の歌詞を思い出しました。この緑濃きは村にかかるのでしょうか、清き天竜にかかってもいいような気がしました。緑の濃淡がはっと人の目を引きます。白・グレー・黄色系だけなのに、ところどころにある赤が紅葉の坂戸橋を表現している。心洗われるいい絵だなと思いました。表紙にもぴったりでした。
- ◆ 素敵です。裏表紙でバックナンバーが見られたのも良いです。来年の村の文化祭展示で原画展をやると良いのでは。
- ◆ 素晴らしい絵だと思うが、全体的な調和がとれていない気がする。

2 134 号の紙面構成について

- ◆ 所々に写真やイラストを入れてあることで興味を持ちやすくなっていると思います。

- ◆ 決算報告のページが前半部分を占め、とても分かりやすくまとめられていると思いました。広報なかかわよりも見やすかったです。こんな小規模の村でもたくさんのお金が使われていることに驚きました。
- ◆ 2P 目 中川村決算の一般会計の％は分かりやすいと思いましたが、費用も併記してもらえると頭に入ってきてやすいと感じました。「42 億」の一般会計が目立つように書かれているので特別会計・公営企業会計の「15 億」ももう少し強調されれば分かりやすいと思います。
- ◆ 決算頁は円グラフがとても見やすく表等もわかりやすくなっているいいと思います。紙面スペースが許せば前年のグラフを載せていただければ比較できると思います。
- ◆ 質問、回答が分かりやすくまとまっているように感じます。所々関連する写真も掲載されていて、スッと頭に内容が入ってきました。特に、2 ページ目の歳出に関する内訳はとても明瞭的で良いと思います。
- ◆ 中川村決算報告の紙面がとても分かり易かった。歳出内容にそれぞれ何に使われているか説明があり分かり易かった。
- ◆ 議会だよりモニターの声の記事部分だけ手書き風字体になっていて、誌面構成が工夫されていると感じた。
- ◆ 決算のグラフは非常に見やすかったです。また、タイトルも読みたくなるような書き方でいいなと感じました。議会の内容も問と答が見やすくて読みやすかったです。
- ◆ 表紙をめくってまず飛び込んできたのは 42 億円+15 億円でした。もともと数字に弱くなかなか頭に入らないので、今までの村のお知らせや他の国県市町村などの歳出や歳入は素通りしていました。でも、これだけ大きい字だと読まざるを得なくなりました。始めてちゃんと見て読んだような気がします。7 ページまでも、問 答 が はっきりしていて読みやすかったです。言葉、意味などわからなくて流してしまいましたが、身近な話題はがんばって読みました。
- ◆ 私はモニターをやっているのでじっくり時間をとって読みますが、ほかの主婦はどうなのでしょう？次回までにヒアリングしてみます。読めば面白いし、内容も充実しているので忙しい世代のみんなにも読んでほしい！
- ◆ 問・答の校正はわかりやすいが、文字の大きさに対して少し大きすぎると思う。□ のデザインがうるさい気がする。
- ◆ 一般質問の構成は各議員様の写真もあり、人柄がうかがえてよい。ダイジェスティブにまとめられて分かりやすい。

3 134 号の記事の内容について

- ◆ 議会チョコッと訪問で総代さんにお話をうかがっていますが、他地区の様子は今ま

で知ることがなかったので、こうした形で知ることができて良かったです。

- ◆ 歳入歳出。どんなものにどのくらい使用されているのかがとても見やすかったです。
- ◆ 読みやすくわかりやすい紙面だと思います。
- ◆ 総代さん こんにちは・・・どの地区も役員の選出・地区作業の担い手の確保には苦勞しておられるのだと思いました。
- ◆ 新たな学校作りを考える上で学園視察の記事は大変興味深く読ませていただきました。
- ◆ 「総代さんこんにちは」ではどの地区も役員と地区作業は悩みの種と痛感します。
- ◆ 私は今まで村の財政事情について知る機会がなかったのですが、年々人口減少や高齢化やらで嘆いているこの村の収支が黒字で驚きました。このまま黒字をキープするためにも、私も、微力ではありますがこれからもどんどん稼いでしっかりと住民税を納めて村に貢献したいです。
- ◆ 教育委員会の質疑応答を読んで、小中学校にエアコンが設置されたことを知り、とても嬉しく思いました。産前産後配食サービスも初めて知りましたが、とても素敵な事業だと思います。このような福祉をきっかけに村に移住してくださる方が増えてくれると嬉しいなと思いました。
- ◆ チャオの懇談を読んで、ぜひ車中泊を可能にしてほしいと思いました。環境は整っているし、何より需要も十分にあると思うので、ぜひこちらは前向きに検討していただきたいと感じました。
- ◆ 中川村の災害について中川村で一番備えなくてはならないのは地震災害と大雨による水害だと思います。地区の避難場所の選定や備えは大事な問題だと思います。また南向地区は地震による橋の損傷があった場合、最悪天竜川越えることができない可能性があります。そういうことも想定しておくべきだと思います。
- ◆ LINE での農業情報発信 とても良い案だと思います。ハードルが高ければメールからスタートでも良いと思います。子育て情報や、色々な行事の開催案内などもメールで情報発信ありだと思います。
- ◆ 議会の詳しい内容がわかりやすく記載されていてよかったと思います。イラストや写真でイメージが沸きやすく、じっくり読まなくてもなんとなくどんな内容が書かれているのかわかりました。
- ◆ アンフォルメル美術館 改修ができて良かったです。館長さんも力のある方が入り、企画も新鮮なユニークな取り組みが増え「新しい風」の感じがします。でも、村の中では周知度がいまいちです。私は気を付けてチラシを見ている方と思いますが、それでも、見落としてしまい、期間が終わっていたことが何回かありました。チラシは月一度の広報などの配布物と一緒に来るのですよね。私は公民館のチラシ置き場から持ってくる人が多いです。なぜ、いい企画なのに見落としてしまうのか、自分でもよくわかりません。チラシとネットだけの情報ではこころもとないです。

ネットは、何かなければ見ません。ページング放送は使えないのでしょうか。遠くの人に「今、これやっているでしょう。」と言われて「えっ、そうなの？」とあわててチラシを探すなんてことも何回かありました。村民に宣伝できる方法をもっとないでしょうか。文化祭で「石橋をたたいて渡る」の作品が展示されていました。そういうことだったのですね。発想の面白さに感心しました。

- ◆ チョコッと訪問 商業の中心はやはりチャオだと思います。特にマルトシさんは頑張っているとおばさん おばあちゃんたちの日頃の感想です。いろいろアイデアを出してくれるし、店員さん達もみなさん親切。村外からも結構買い物に来ています。南向食品館も利益が心配ですが、本当に助かっています。ニルスさんも本屋さんを続けてくれて有り難い。セラードさんも定評がある所です。議会や行政に対する希望や要望などぜひ聞いて頂いて、チャオを盛り上げてもらいたい。
- ◆ 白川郷学園 すてきですね。読んでいるだけでも一度訪問してみたいくなります。明るくロマンを感じます。
- ◆ 毎回チョコッと訪問は「へえーそうなのか」と村内について関心が高まります。チャオの道の駅化たしかによさそう。他地区の諸事情を知れるのはとても良いです。
- ◆ マイナ保険証についての問題はもっと大きく取り上げてほしいと思う。

4 議会広報ならびに村民と議会のコミュニケーションについて

- ◆ チョコッと訪問のように、いろいろな方の意見を聞く活動を続けていただければと思います。
- ◆ 問答も端的に表記されているので短時間で読み切れるのでうれしい
- ◆ 上伊那下伊那の境の中川村では、震災時だけでなく常時両方の情報が入手できると何かと都合がよいのでは（気象情報は農家さんには必要）
- ◆ 公式LINE等で近隣の情報やちょっとしたイベント情報を発信されると、もっと活性化につながるとおもいます。
- ◆ 村の問題点や課題・イベントなどについて、子供でもできるような簡単なクイズをLINEアプリで定期的に発信、返答してもらったもので村民の思いや考えを参考程度に収集してみるとか…気楽に参加できるものがあるといいと思います。例えば「カーボンニュートラルとは」具体的にと言われると「…」だけど、○×形式などで答えをさがしてみるとか勉強にもなるかな。
- ◆ 活動情報が知れていいが、広報を開いて読んでみたらイベントが終わっていたなどもありました。（届いたらすぐ読めばいいのですがなかなか…）エコーシティ放送は「ながら聞き」できるのでいいです。
- ◆ チョコッと訪問のコーナー楽しみに読ませていただいています。村内の企業や商店、総代さんと続いています。幅広い方面から選出いただきたいです。募集するといってもなかなか自主的に応募してくれる方はいなかったら、議会の方でどんどん人

選してください。

- ◆ 思い起こすと、日常の会話の中で「議会だより」が話題になったことがありませんでした。村民（私）と議会の距離が近くなるよう、モニターにさせていただいたこの機会に少しでも記事のことを会話に織り交ぜられるようになっていければと思います。
- ◆ 議員の方々とお話しする機会はなかなかありません。地区総会にチョコッと訪問していただけたらありがたいです。
- ◆ もっと若年層に村の政治のことを知ってもらう為に、小中学校で議会だよりを読んで、意見感想を言い合う、そんな授業があってもいいのではないかなと思いました。
- ◆ バンビー二では、村内のお母さん方と村長さんの車座会があったりします、議会もそういったところで若い世代の方々と交流する機会を作るのもよいかなと考えます。子育て世代は、イベントなどに出たくても託児がなかったり、夕方からで参加できなかったりすることもあるので、色々な時間に開催して、多世代と交流できたらよいのではないかなと思いました。
- ◆ 今回、白川郷学園視察の記事が大きくありましたが、今後も現在の新しい学校への取り組み内容（進捗状況）を知りたいです。それが議会だよりなのか広報なのか、それとも別の媒体なのか。
- ◆ 議会だよりモニターの様なものをもっと広く村民に問う書面なり何かとつつきやすいメディアを使って意見などを交換できたら良いと思う。集会も良いが積極的に出てくる人は限られるので、匿名性があって、半強制的に意見をくみ取られるやり方。

5 議会・村に対するご意見・ご要望

- ◆ 前回のアンケートの件で電話をいただき、きちんと見ていただけていることがわかり、次回にむけて周囲の“何か”を考える気になりました。
- ◆ 議員の皆さんそれぞれお忙しい仕事をいくつもかけ持ちしながら村民のためにがんばってくださっていて、本当に感謝しています。報酬は一律ではなくがんばっている議員さんの努力が報われる形にならないのでしょうか。
- ◆ 父がチョイソコなかがわを利用しています。耳が遠くコミュニケーションを取りにくい高齢者ですが、ドライバーさんには毎回親切に対応していただけて、また、家まで送迎していただけるので安心してお願いできます。年に数回の利用ではありますが、大変助かっています。今後もぜひ持続していただきたいと思います。
- ◆ チャオに併設されている「旅の案内書」は数回入っただけですが、とても工夫されていて楽しい所だと思います。ただ、窓が透明でないため中が見えづらく入るのを迷う感じがあります。もっと村外の方も気楽に入れる工夫をしてもらえたらと思います。

- ◆ 私はボランティアにとっても興味があるのですが、村の HP 内ではそれらに関するページが見当たりませんでした。福祉協議会の HP を見つけましたが、中には 3、4 年前に書かれたページもあったりして、現在の活動状況が不明瞭で、中々参加に踏み切れずもやもやした気持ちでいます。もっとボランティアに関する最新情報が分かりやすくなって欲しいと思います。
- ◆ 高校生の中川村地域公共交通バス無料化や通学定期補助の増額など子育て支援策に大変感謝しています。引き続きさまざまな子育て年代への支援策をお願いします。
- ◆ さわやかウォークがとうとうファイナルとなりました。私はずっとスタッフとして参加していましたが、今年は最後なので歩かせてもらいます。松川町高森町豊丘村の友人と。その友達も「もったいないね。良いイベントだったのに。」と言っています。前にも書きましたが公民館が中心では忙し過ぎです。バレー祭→文化祭→さわやかウォークと大きなイベントが続き、その間にもさまざまな講座が開かれています。ハーフマラソンが終わり、ウォーキングも終わり、この村の良さをアピールするのはどこなのでしょう。自転車は一般的ではありません。キャンプも手軽にはできません。地域振興課などが中心となり、村をアピールする企画を考えてほしいです。中川村の自然の美しさはもっと売らないともったいない。
- ◆ 現在、村では村内保育園の給食費が全世帯無料となっています。そして来年度、認可外保育施設として「かなでのもりっこ」がスタートします。そこでは週に 3 階オーガニック給食を提供する予定です。使う食材も村内で育っているものをメインで扱っていく予定です。そこで、「子供の食を守る」という点では認可内外を問わずに給食費の扱いを同一にさせていただきたいと考えています。議会での検討をお願いします。※「認可外」という名称ですが様々な条件をクリアし、県に認められた施設です。もちろん村からの許可もいただいています。
- ◆ カーボンニュートラルという概念は自分にとっては科学的ではないまやかしだと思っているのですが、割と気軽に使われていると思う。そのあたり本気で議論してほしい。LGBT しかり・・・

6 その他（お気づきのこと ご意見を自由に）

- ◆ 「ごみ袋に記名」 飯島町は各家ごとに記号番号が割り当てられ数字を書くだけでよくなっていました。個人情報は見えないが誰のものかはちゃんとわかる。とてもいいなと思いました。中川村も、簡素化できることは改善できるといいですね。
- ◆ 牧ヶ原村営住宅を始め、小・中 3ヶ所にある 4戸入居できる教員住宅など古い住宅はそろそろ建て直しの時期なのではないでしょうか。「若者住宅」と銘打って新しい住宅を作るのではなく、今ある空き住宅（個人の）を村が買い取り、地区に入るのを条件にうまくリノベーションして貸したり売ったりするのは？
- ◆ 図書館の貸し出し冊数が大幅に減っているというところが気になりました。原因は

コロナ禍だけでしょうか・・・？私はそうとは思えません。図書館長を教育長が兼任することは無理があると思います。専任の館長をおくべき。教育長は今お忙し過ぎます。図書館祭といっても、本の払い出しをやっているだけ？という印象で、以前のように作家さんと呼んでの講演会もなければ、ワークショップありません。手にとって読みたくなるようなポップもなくて目新しさもなく・・・と思っているのは私だけ？改革が必要かと思います。杉澤さんが館長の頃はとても活気があったように思います。

- ◆ 3P 目の上段は使用例 と思いますが、例えばアンフォルメル美術館の改修費はどの枠からの歳出なのでしょうか？（教育費？）
- ◆ モニター等を募り、より良い議会便りを作成していただきありがとうございます。この機会を通して議会に興味を持ちましたので、多くの方にもっと知ってもらえたらいいなと感じました。
- ◆ 編集委員の方々ご苦労様です。長い質問や答えをこのように簡潔にまとめるのはさぞ大変なことと思います。白川郷学園もまとめ方がいから、温かさが伝わってきたと思います。次号を楽しみにしています。